

外用消炎
鎮痛剤

販売名:
アンメルツNEOJ

第2類
医薬品

External
Anti-Inflammatory
/Analgesic

⚠ 使用上の注意

❌ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる)

1. 次の人は使用しない (1) 本剤または本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人 (2) ぜんそくを起こしたことがある人 (3) 妊婦または妊娠していると思われる人 (4) 15才未満の小児
2. 次の部位には使用しない (1) 目の周囲、粘膜など (2) 皮ふの弱い部位 (顔、頭、わきの下など) (3) 湿疹、かぶれ、傷口 (4) みずむし・たむしなどまたは化膿している患部
3. 本剤を使用している間は、他の外用消炎鎮痛剤を使用しない
4. 長期連用しない



相談すること

1. 次の人は使用前に医師、薬剤師または登録販売者に相談する (1) 医師の治療を受けている人 (2) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人 (3) 次の医薬品の投与を受けている人 ニューキノロン系抗菌剤
2. 使用中または使用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに使用を中止し、このパッケージを持って医師、薬剤師または登録販売者に相談する

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ、かぶれ、はれ、痛み、刺激感、熱感、皮ふのあれ、落屑 (フケ、アカのような皮ふのはがれ)、水泡、色素沈着

まれに下記の重篤な症状が起こることがある
その場合は直ちに医師の診療を受けること

症状の名称	症 状
ショック (アナフィ ラキシー)	使用後すぐに、皮ふのかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁などがあらわれる
接触皮ふ 炎、光線 過敏症	塗布部に強いかゆみを伴う発疹・発赤、はれ、刺激感、水泡・ただれなどの激しい皮ふ炎症状や色素沈着、白斑があらわれ、中には発疹・発赤、かゆみなどの症状が全身にひろがることもある。また、日光があたった部位に症状があらわれたり、悪化することがある

3. 5～6 日間使用しても症状がよくならない場合は使用を中止し、このパッケージを持って医師、薬剤師または登録販売者に相談する

—【成分・分量】100g中—

ジクロフェナクナトリウム 1g
L-メントール 6g
トコフェロール酢酸エステル 100mg
ノナン酸バニリルアミド 12mg
ニコチン酸ベンジルエステル 10mg
添加物として、ヒドロキシプロピルセル
ロース、ポリオキシエチレン硬化ヒマシ
油、プロピレングリコール、ジプロピレ
ングリコール、乳酸、エタノールを含む

—【用法・用量】—

1日3～4回、適量を患部に塗布する。ただし、塗布部位をラップフィルムなどの通気性の悪いもので覆わない。なお、本成分を含む他の外用剤を併用しない

〈用法・用量に関連する注意〉

(1) 定められた用法・用量を厳守する (2) 本剤は、痛みやはれなどの原因となっている病気を治療するのではなく、痛みやはれなどの症状のみを治療する薬剤なので、症状がある場合だけ使用する (3) 本剤は外用にのみ使用し、内服しない (4) 1週間あたり50gを超えて使用しない (5) 目に入らないように注意する。万一、目に入った場合には、すぐに水またはぬるま湯で洗う。なお、症状が重い場合には、眼科医の診療を受ける (6) 使用部位に他の外用剤を併用しない (7) 通気性の悪いもの (ラップフィルム、矯正ベルトなど) で使用部位を覆い、密封状態にしない ●皮ふの特に弱い方は、同じところに続けて使用しない

●スポーツや入浴など、汗をかく前後に使用した場合、ヒリヒリとした刺激、痛みや熱感が増すことがあります。これらの症状が強い場合は、石けんで洗い流すと緩和します

＼あったらいいな／をカタチにする

発売元 小林製薬株式会社
〒541-0045 大阪市中央区道修町4-4-10
製品のお問合せ先 (お客様相談室)
☎ 0120-5884-01
受付時間 9:00～17:00 (土・日・祝日を除く)
ホームページ <http://www.kobayashi.co.jp>

製造販売元 小林製薬株式会社
〒567-0057 大阪府茨木市豊川1-30-3

火気厳禁 第2石油類 危険等級Ⅲ
エタノール含有物 水溶性

使用に際して、この説明書を必ず読むこと。また必要に応じて読むよう大切に保管すること。使用期限 (パッケージ側面およびチューブ底に記載) を過ぎた製品は使用しないこと

—【効能・効果】—

肩こりに伴う肩の痛み、腰痛、関節痛、筋肉痛、腱鞘炎 (手・手首の痛み)、肘の痛み (テニス肘など)、打撲、捻挫

【保管および取扱い上の注意】

(1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しいところ (冷暗所) にキャップをしっかりとめて保管する (2) 火気に近づけない (3) 小児の手の届かないところに保管する (4) 他の容器に入れ替えない (誤用の原因になったり品質が変わる) (5) 使用期限を過ぎた製品は使用しない。なお、使用期限内であっても、開封後はなるべく速やかに使用する ●プラスチック製品 (眼鏡わく、くし、便座など)、化繊の衣類、木材 (塗料塗り家具、床など)、皮革などに本剤がつくと損耗したり、シミになることがあるので注意する ●衣類に付着した場合には、各衣類の洗濯表示に従って、すみやかに洗う

製品のお問合せは、お買い求めのお店またはお客様相談室にお願いいたします

上段：使用期限 (西暦年月)
下段：製造番号

副作用被害救済制度 ☎ 0120-149-931